

第2学年西組 国語科学習指導案

「大事な言葉を探して動物の秘密クイズを作ろう

～『ビーバーの大工事』『どうぶつカードを作ろう』～

学習指導者 東 泰右

1 学級（33名）の実態

（1）方法の習得を目指す自己調整力に関する実態

〔自らの学びを正確に捉える力〕

国語科の授業の振り返り場面では、「同じところや違うところを探す」などの技（課題解決の手掛かり）の中から、どの技を使えたかを確かめる時間を毎時間設定しており、実際に振り返ることができている。一方、「国語の時間に、できた（できなかった）理由を考えている」についての肯定的回答は23名であり、この振り返りの活動が課題解決の理由を考えることと結び付いていない子供も存在することが分かる。

（2）教科に関する学級の実態

文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力を測った事前の調査では、完全正答は9名、一部正答は22名、誤答は2名であった。また、「説明文を詳しく読むときに気を付けていること（自由記述）」について、「同じところや違うところを探す」「自分の体でやってみる（動作化する）」などといった、これまでの国語科の授業（「読む」領域）で見付けてきた「読みの技」を意識できている子供は7名であり、物語について同様に質問した結果の21名と比べてかなり少ない。

習得を目指す「自らの学びを正確に捉える方法」

使えた技（読み方・書き方）を振り返る

2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

本単元では、動物の生態について書かれた文章を読み、秘密（すること、体の特徴）やその理由をクイズにする活動を通して、文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力と、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にする力を高めることを目指す。

単元の初めに、教師が作成した、ビーバーの秘密とその解説（理由）がセットになった三択クイズに出合うことで、「ビーバーの他の秘密も知りたい」「自分たちもクイズを作って誰かに紹介したい」「どうすればクイズを作れるのかな」などの思いから、「ビーバーの秘密クイズを作って〇〇に紹介しよう」という単元のゴールを設定する。そして、その達成に向けて必要なことを考えて学習計画を作成する。

子供たちは、クイズ作りのために、ビーバーの秘密やその理由を探していく。例えば、「木を切り倒すビーバー」のまとめりでは、「ビーバーの鋭くて大きい歯は、大工さんの使うのみのようになっているよ。それは、木をぐいぐいとかじるためだよ」「私も、同じ『体の特徴』を見つけたけど、理由は木を切り倒すためにしたよ。のみのような歯だから、木をかじるだけじゃなくて切り倒すこともできると思うからだよ」「確かに、その秘密と理由のセットもつながっているね。新しいセットが見付かったよ」などと、友達との交流を通して秘密とその理由のつながりを確認し、それをクイズの答えや解説に生かしていく。

振り返り場面では、チェックリストを基に、自分が使えた技（読み方・書き方）をチェックすることで、課題解決のためにどんな技を使えたかを振り返り、自分の成長を捉えていく。

このように、動物の秘密クイズを作る活動を経験した子供たちは、調べ学習や報告会などの今後の学習においても、自分の目的に応じて、重要な語や文に着目しながら文章を読むとともに、必要な情報を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしていくだろう。

3 単元計画と単元構成の工夫 (本時 5/15)

次	学習の流れ	単元構成の工夫
一	<p>① 学習計画を立てよう</p> <p>ビーバーの秘密に関する解説付きの三択クイズに出会い、単元のゴールを設定する。ゴールを達成するために必要なことを話し合い、大まかな学習計画を作成する。その後、教材文を一読する。</p>	<p>【達成意欲を高める目標共有】①⑨</p> <p>①時に、図鑑などを基に作成した、ビーバーの秘密に関する解説付きの三択クイズを提示することで、自分たちも同じように解説付きの三択クイズを作って紹介したいという思いをもてるようにする。</p>
二	<p>② 何を書いてあるか確かめよう</p> <p>内容の大体を捉えて、文章を「木を切り倒すビーバー」「ダムを作るビーバー」「巣を作るビーバー」の三つのまとまりに分ける。そして、三つのまとまりごとにクイズのもと（クイズにできそうなところ）を見付けていくことを確認し、学習計画を修正する。</p>	<p>また、紹介する相手を自由に選択できるようにすることで意欲を高め、「ビーバーの秘密クイズを作って〇〇に紹介しよう」という単元のゴールを設定する。</p>
二	<p>③④ 「木を切り倒すビーバー」からクイズのもとをたくさん見付けよう</p> <p>③時は、「木を切り倒すビーバー」からクイズにできそうなところを考えて共有する過程で、ビーバーの秘密（すること、体の特徴）に着目するとよいことや、クイズの解説に使う理由もセットで見付ける必要があることを確認し、「大事な言葉を探す」という新たな読みの技を獲得する。</p>	<p>⑨時に、ビーバーの秘密クイズを紹介した感想を交流することで、他の動物の秘密クイズも作って紹介したいという思いをもてるようにする。そこで、保護者や地域の方が参加する附小フェスタの機会があることを伝え、「好きな動物の秘密クイズを作って附小フェスタで紹介しよう」という単元のゴールを再度設定する。</p>
二	<p>④時は、「木を切り倒すビーバー」のまとまりの中から、秘密とその理由のセットを見付け、クイズのもとカードを複数作成する。</p> <p>⑤⑥ 「〇〇するビーバー」からクイズのもとをたくさん見付けよう</p> <p>⑤時には「ダムを作るビーバー」、⑥時には「巣を作るビーバー」について④時と同様の流れで活動する。</p>	<p>【子供が自ら選択して、学びを進める場】⑩～⑭</p> <p>好きな動物の秘密クイズを作るために必要な、「動物の本を読んで紹介したい動物を決める」「クイズのもとを見付ける」「クイズを作成して友達と確認し合う」の活動を5時間で行うことを伝え、それぞれにかかる時間を自由に決められるようにする。さらに、毎時間、進捗を確認する場を設けることで、計画を見直す機会を作る。その際、第二次の学習の足跡が記された学習計画を参考にするよう助言することで、根拠をもって計画を立てたり見直したりできるようにする。</p>
二	<p>⑦⑧ ビーバーの秘密クイズを作ろう</p> <p>伝えたいことを明確にして、クイズにしたい秘密とその理由を選ぶ。また、重要な語や文を意識して誤答の選択肢を考え、友達と確かめ合いながらクイズに使う表現物を作成する。その後、課外の活動として、それぞれが決めた相手にクイズを紹介する。</p> <p>⑨ 『ビーバーの大工事』の学習を振り返ろう</p> <p>クイズを紹介した感想を共有する中で生まれた思いを基に、新たなゴールを設定し、学習計画を修正する。</p>	<p>また、自分の必要に応じて学習の形態を個人と協働の2種類から自由に選択できるようにする。</p>
三	<p>⑩～⑭ 好きな動物の秘密クイズを作ろう</p> <p>個人で、活動の計画を立てたり見直したりしながら、第二次と同様の流れで解説付きの三択クイズに使う表現物を作成する。</p> <p>⑮ 好きな動物の秘密クイズを紹介しよう</p> <p>附小フェスタでクイズを紹介する練習を行い、意欲を高める。その後、本単元の学習を通して身に付いた力を振り返る。</p>	

4 方法の習得の段階に合わせた手立て 【チェックタイム】②～⑧、⑩～⑭

認知段階	想起段階②～⑧、⑩～⑭
<p>本単元までの国語科の授業の振り返り場面で、一人一人の手元にある「(読み・書きの) 技チェックリスト」を基に、どの技が使えていたかを個人で振り返る時間を設定しており、「自分が使えた技をチェックする」という方法を教示している。また、その際に「自分の成長を見付けることができる」という方法のよさを共有している。</p>	<p>振り返り場面では、「今日の成長を振り返ろう」と、活動の切り替わりを伝え、方法を想起して自分が使えた技をチェックすることを促す。その際、テレビモニターに振り返りの手順を示しておく。全体への声掛けだけでは方法の想起ができていない子供には、チェックリストを見るよう個別の声掛けを行う。</p>

5 本時の学習

目 標	クイズを作るために、「ダムを作るビーバー」のまとめりから、重要な語や文を見付けることができる。また、自分がどんな読みの技が使えたかを振り返ることができる。
--------	---

学習活動と手立て	主な子供の意識								
見 通 し	1 前時の学習を振り返り、学習課題を設定する。	<p>この勉強のゴールは、ビーバーの秘密クイズを作って紹介することだったよ。</p> <p>前の時間は、「木を切り倒すビーバー」からクイズのもとカードを作ったよ。</p> <p>今日は、「ダムを作るビーバー」のまとめりから秘密とその理由を見付けて、クイズのもとカードを作るよ。</p> <p style="text-align: center;">「ダムを作るビーバー」からクイズのもとをたくさん見付けよう</p>							
	2 「ダムを作るビーバー」のまとめりから秘密を見付ける。 (1) 個人 (2) 全体交流	<p>前の時間はどの読みの技を使ったかを確認しておこう。今日も、色んな読みの技を使うとクイズのもとがたくさん見付けられそうだね。</p> <p style="text-align: center;">まずは、「すること」と「体の特徴」を見付けていこう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">「木をくわえたまま水の中にもぐる」を見付けたよ。</td> <td style="width: 25%;">このまとめりには、「すること」ばかりで「体の特徴」が無いね。</td> <td style="width: 25%;">普通で5分間、長いときで15分間も水の中にいるなんてすごいね。</td> <td style="width: 25%;">ビーバーが家族総出で仕事を続けるのは人間と少し違うところだね。</td> </tr> </table>	「木をくわえたまま水の中にもぐる」を見付けたよ。	このまとめりには、「すること」ばかりで「体の特徴」が無いね。	普通で5分間、長いときで15分間も水の中にいるなんてすごいね。	ビーバーが家族総出で仕事を続けるのは人間と少し違うところだね。			
「木をくわえたまま水の中にもぐる」を見付けたよ。	このまとめりには、「すること」ばかりで「体の特徴」が無いね。	普通で5分間、長いときで15分間も水の中にいるなんてすごいね。	ビーバーが家族総出で仕事を続けるのは人間と少し違うところだね。						
行 動	3 秘密とその理由のセットを見付ける。 (1) 個人 (2) 自由交流 (3) 全体交流	<p style="text-align: center;">秘密とその理由のセットを見付けてクイズのもとカードに書くよ。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">ビーバーが木をくわえたまま水に潜るのは、木を川の底に差し込むためだよ。ダムを作ることにもつながるよ。</td> <td style="width: 25%;">木の尖った方を川の底に差し込んで流れないよにするのは、その木と小枝と石と泥でダムを作るためだよ。</td> <td style="width: 25%;">ビーバーが普通で5分間、長い時には15分間も水の中にいることはクイズにできそうだけれど、この理由が分からないな。</td> <td style="width: 25%;">ビーバーが夕方から夜中まで家族総出で仕事を続けるのは秘密だと思うけれど、その理由はどこに書いてあるんだろう。</td> </tr> </table> <p>秘密と理由がつながっているね。一つの見付けていなかった新しいセットが増えたよ。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">一つの「すること」から二つの理由が見付かったね。他にもありそうだよ。</td> <td style="width: 25%;">「川の水をせき止める立派なダム」を作るためには、家族みんなでないといけないね。</td> <td style="width: 25%;">もし、長い時間水の中にいられなかったら、なかなか仕事が進まないからじゃないかな。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">色々な秘密があるから、立派なダムを作ることができるんだね。</p> <p style="text-align: center;">みんなで話したからクイズのもとがたくさん見付かったよ。</p>	ビーバーが木をくわえたまま水に潜るのは、木を川の底に差し込むためだよ。ダムを作ることにもつながるよ。	木の尖った方を川の底に差し込んで流れないよにするのは、その木と小枝と石と泥でダムを作るためだよ。	ビーバーが普通で5分間、長い時には15分間も水の中にいることはクイズにできそうだけれど、この理由が分からないな。	ビーバーが夕方から夜中まで家族総出で仕事を続けるのは秘密だと思うけれど、その理由はどこに書いてあるんだろう。	一つの「すること」から二つの理由が見付かったね。他にもありそうだよ。	「川の水をせき止める立派なダム」を作るためには、家族みんなでないといけないね。	もし、長い時間水の中にいられなかったら、なかなか仕事が進まないからじゃないかな。
	ビーバーが木をくわえたまま水に潜るのは、木を川の底に差し込むためだよ。ダムを作ることにもつながるよ。	木の尖った方を川の底に差し込んで流れないよにするのは、その木と小枝と石と泥でダムを作るためだよ。	ビーバーが普通で5分間、長い時には15分間も水の中にいることはクイズにできそうだけれど、この理由が分からないな。	ビーバーが夕方から夜中まで家族総出で仕事を続けるのは秘密だと思うけれど、その理由はどこに書いてあるんだろう。					
	一つの「すること」から二つの理由が見付かったね。他にもありそうだよ。	「川の水をせき止める立派なダム」を作るためには、家族みんなでないといけないね。	もし、長い時間水の中にいられなかったら、なかなか仕事が進まないからじゃないかな。						
	4 本時の学習を振り返る。 【チェックタイム】	<p>今日の成長を確かめるために、どの読みの技が使えたかを確認してみよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">「大事な言葉を探す」や「『もし〜だったら…』と考える」などを使ってカードを作ることができたよ。</td> <td style="width: 50%;">今日は三つの技が使えたよ。次のまとめりを読む時にも、「大事な言葉を探す」などが使えそうだよ。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">自分が使えた技をチェックしたから、成長を見付けられたよ。</p> <p style="text-align: center;">今日もゴールに近付いたね。次の時間は、「巣を作るビーバー」だね。</p>	「大事な言葉を探す」や「『もし〜だったら…』と考える」などを使ってカードを作ることができたよ。	今日は三つの技が使えたよ。次のまとめりを読む時にも、「大事な言葉を探す」などが使えそうだよ。					
「大事な言葉を探す」や「『もし〜だったら…』と考える」などを使ってカードを作ることができたよ。	今日は三つの技が使えたよ。次のまとめりを読む時にも、「大事な言葉を探す」などが使えそうだよ。								
評 価	「ダムを作るビーバー」のまとめりから見付けた秘密とその理由について友達と交流し、そのつながり確かめながら、新しい秘密と理由のセットを見付けている。また、自分が使えた読みの技を振り返り、成長を捉えている。								
	【方法：発言、様相、記述】								

6 本時の詳細

～見通し～ **学習活動1**

単元のゴールを位置付けた学習計画をテレビモニターに映しておき、それを基に、前時までの学習を振り返るとともに、本時の学習課題を設定する。まず、ビーバーの秘密クイズを作って紹介するという単元のゴールを確認する。前時は、「木を切り倒すビーバー」のまとめりから、クイズにできそうなところを探してクイズのもとカードを作成したこと、本時は「ダムを作るビーバー」について同様に学習していくこと確認し、それを学習課題として設定する。その後、『ダムを作るビーバー』の秘密とその理由を見つけてクイズのもとカードを作ったら、「面白いクイズができそうだね」などと共感し、課題解決への意欲を高める。

ゴール	ぜんぶで⑧時間	のこり⑤時間
ビーバーのひみつクイズを作って ふりかえる ○●にしようかしよう	「ビーバーの大作」のペンきょうを ふりかえる 作ったクイズをしようかいする (休み時間など)	②③ 木を切りたおすビーバー ダムを作るビーバー すを作るビーバー クイズを作る 友だちとかくにんし合う
		クイズのもとカードを たくさん作る

【学習計画】

～行動～ **学習活動2・3**

子供たちは一人一人、手元に「読みの技チェックリスト」を持っている。このチェックリストには、これまでの国語科（「読む」領域）の学習で見付けてきた読みの技が一覧で載っており、その項目は全員共通である。

行動場面の初めには、このチェックリストやこれまでの学習を基に、本時使うとよさそうな読みの技を共有する時間を設ける。そうすることで、本時でも、「大事な言葉を探す」「もし、

↓クイズのもとカード↓	①ビーバーのひみつ (体のとくちょう・すること) を見つけて線を引く	5分
	②見つけたひみつを しようかいする【ぜんいで】	5分
	③クイズのもとカードを書いて ひみつとりゆうが つながっているかたしかめる	10分
	④見つけたクイズのもとを しようかいする【ぜんいで】	12分

【活動の手順表】

～だったら』と考える」などの読みの技を使うとよさそうだという見通しをもって学習に取り組めるようにする。その後、「ビーバーのクイズを作るときの『大事な言葉』とは何かを問い、「すること」「体の特徴」「その理由」の三つであることを確認する。さらに、これまでの学習を基に、本時の活動にかける時間を子供と共に設定する。手順表や設定した時間をテレビモニターに映しておくことで、活動中にいつでも見られるようにする。全体交流で子供が読みの技を用いた際は、「〇〇さんが言った、『もし、家族総出じゃなかったら…』は、どの読みの技を使っているかな』などと全体に問いかけることで、読みの技を使っていることを確認するとともに、その技を使う具体的な姿をイメージできるようにする。また、全体交流の後に、新しく見付かった秘密と理由のセットはどれかを一人一人表出する場を設けることで、交流によって考えが広がったり、深まったりしたことに気付けるようにする。

～振り返り～ **学習活動4** 【チェックタイム】

「今日の成長を振り返ろう」と、活動の切り替わりを伝えることで、子供が「自分が使えた『読みの技』をチェックする」という方法を想起し、自ら、今日どんな読みの技が使えたかを振り返られるようにする。また、一人一人の手元にチェックリストを用意しておくことで、技の項目を一つ一つ確かめながら、振り返られるようにする。全体への声掛けだけでは方法の想起ができていない子供には、チェックリストを見るように個別の声掛けを行う。個人でチェックした後は、どんな場面でその技が使えたかを友達と伝え合う場を設けることで、チェックの妥当性を高められるようにする。そして、チェックリストを基に振り返りを行っている姿に対して、「自分がどの技を使えたかをチェックしたから、今日の成長を見付けることができたね」と価値付ける。

読みのわざ	名前()
7 「もし、～だったら」と考える	7/14 7/14 9/16 10/17 10/18 10/21
8 図やしゃんと文しようにつなげる	7/14 7/15 10/17
9 どうしてそうしたのか りゆうを考える	9/14 9/15
10 大事なことをさがす 【せつめい文】	10/17 10/18 10/21

【読みの技チェックリストの一部】